

<使用上の注意続き>

- (3) 同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (4) 血清・膿汁等のたん白質を凝固させ、内部まで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療用器具等に用いる場合には、十分に洗い落とすしてから使用すること。
- (5) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落とすしてから使用すること。
- (6) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (7) 本剤は引火性、爆発性が極めて強い（電気メス、使用等も含む）には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
- (8) 溶液の状態を長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】

1. 本剤の使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。
2. マスキンW・エタノール液（0.5%v/v）の殺菌作用  
マスキンW・エタノール液（0.5%v/v）の *in vitro* の試験において、グラム陽性菌4株、グラム陰性菌13株、真菌1株を全て15秒以内に殺菌した。

【取扱い上の注意】

1. 本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。
2. 安定性試験  
最終包装製品を用いた加速試験（40℃、75%RH、6ヵ月）の結果、マスキンW・エタノール液（0.5%v/v）は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

火気厳禁

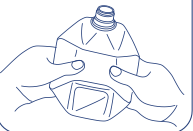
第4類  
アルコール類  
水溶性  
危険等級II



キャップ：PP  
ボトル：PE  
ラベル：PET

A-3

使用后、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を筒のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。  
(つぶした後は元に戻りません。)



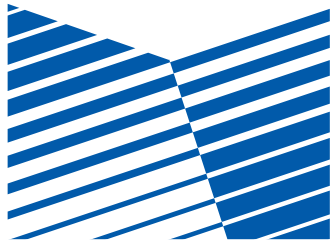
開封日 年 月 日

皮膚（手術野）・医療機器殺菌消毒剤  
(クロルヘキシジン製剤)

マスキン® W  
エタノール液(0.5%v/v)

MASKIN® W  
ETHANOL SOLUTION(0.5%v/v)

500mL



注意 1. 外用にのみ使用すること。  
2. 本剤は希釈せずに原液のまま使用すること。

製造番号

使用期限

製造販売元  
丸石製薬株式会社  
大阪市鶴見区今津中2-4-2

2019年 3月改訂(第9版)	
*2017年10月改訂	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	16200AMZ00106
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月
再評価結果	1992年6月

貯法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。  
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

注意：取扱い上の注意の項参照

\*【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

- (1) クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
- (2) 脳、脊髄、耳(内耳、中耳、外耳)  
[聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。]
- (3) 脳、膀胱、口腔等の粘膜面  
[クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。]
- (4) 損傷皮膚及び粘膜 [エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。]
- (5) 眼

【組成・性状】

1. 組成  
100mL中  
クロルヘキシジングルコン酸塩 0.5g(0.5%v/v)及び添加物としてエタノール 含有
2. 性状  
無色透明な液で、特異なにおいを有する。水、エタノール又はエタノール(95)と混和する。本品1mLはアセトン2mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。  
比重d<sub>4</sub>：0.860~0.880

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	本剤をそのまま消毒部位に用いる。
医療機器の消毒	本剤をそのまま用いる。

\*【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)
  - (1) 薬物過敏症の既往歴のある者
  - (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
2. 重要な基本的注意
  - (1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏性体質の有無について、十分な問診を行うこと。
  - (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
  - (3) 産婦人科用(膣・外陰部の消毒等)、泌尿器科用(膀胱・外性器の消毒等)には使用しないこと。
  - (4) 本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちに水で洗浄すること。
  - (5) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

\* (1) 重大な副作用

ショック(0.1%未満)、アナフィラキシー(頻度不明) ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、尊麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明	0.1%未満
過敏症(注1)		発疹・蕁麻疹等
皮膚(注2)	刺激症状	

注1) このような症状があらわれた場合には直ちに使用を中止し、再使用しないこと。  
注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用すること。

- 使用時
- (1) 注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
  - (2) 本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生産することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。

<使用上の注意続く>▶